

# デリバリーうき

## 魅力ある地域社会を目指して

2月2日、地場産業の育成と起業家支援による雇用創出を目指しウイングまつばせで開催され、市内外の企業関係者や商工会関係者など約250人が参加しました（宇城市・ハローワーク宇城・熊本県地域労使就職支援機構が主催）。

葦茂壽太郎・熊本県立大学理事長が「地域経済の活性化と魅力ある雇用をめざして」と題して講演。「人々の価値観が利便性重視から快適性重視に変わってきている。地域の環境を生かした雇用を図るべき」と話しました。

また、パネルディスカッションでは、服部忠敏・株式会社熊本ワーキンググループ代表をコーディネーター、葦茂理事長をアドバイザーに迎え、松浦茂・松合食品株式会社代表取締役、橋本徹・宇城市五町

商工会合併研究会会長、田中利和・水俣市環境ビジネス雇用促進協議会会員、阿曾田清・宇城市長の4人がパネリストとして、それぞれの立場での考えを述べました。

最後に阿曾田市長が「平成21年度までに1000人の雇用創出を目指していただくよう企業主に申し入れをしていきたい」と宣言し閉会となりました。



シヨウガの商品化を提案する橋本会長中央



農作業の在り方を話す山下さん

## 農業を考えるフォーラム これからの農家のために

2月17日、小川総合文化センター“レポート”で行われ、地域の農業関係者など約200人が参加しました（宇城市認定農業者連絡協議会・同担い手育成総合支援協議会主催）。

三角町の梅田正剛さん、不知火町の松野光倫さん、松橋町の畑山聖太さん、小川町の中村敬一さんの意見発表が行われ、日ごろの仕事で考えていることなどを語りました。

その後、農民作家の山下惣一さんによる「これからの農業・農村を考える」と題した講演が行われました。その中で「これからは、農家だけを見るのではなく、農家・農村を含んだ地域づくりが大切だ」と語りました。

## 子どもたちの食と未来を考える

1月24日、阿曾田清市長が松橋中学校を訪問し生徒と一緒に給食を食べました。

これは、全国給食週間（1月24日～30日）の一環として、学校給食の意義、役割について児童・生徒、保護者や地域住民の理解と関心を高め、学校給食のより一層の充実発展を目指し、市内全小・中学校で行われ、助役や市議会議員、教育委員などがそれぞれ訪問しました（市教育委員会主催）。

生徒たちは市長との会食に初めは緊張していましたが徐々に普段の調子を取り戻し、楽しい時間を過ごしました。



みんな一緒に「いただきます」



団員を厳しくチェックする星岡団長

## 市民の生命と財産を守る

2月18日、岡岳総合運動公園で平成19年宇城市消防団出初め式が行われ、星岡正弘団長以下1851人の消防団員が集結。500人を超える観覧者に威風堂々とした姿と安寧秩序を思う精神を見せてくれました。式典は、午前9時分列行進で全団員が入場。阿曾田清市長の式辞から、団長訓示（功労者の表彰、来賓祝辞、祝電披露とつつがなく進みメインイベントの通常点検が行われ、団員たちは日ごろの訓練の成果を競いました。



また、点検は幼年消防クラブ（297人）も行われ、わが子の晴れ姿をカメラに収めようと詰め寄る保護者も会場をにぎわしました。

通常点検の結果は下記のとおりです。



## 消防団員募集!!

地域に密着した防災機関として「わたしたちのまちを災害から守る」という使命感の下、地域の防災リーダーとして幅広い活動を行っています。

宇城市消防団では、自営業者、サラリーマン、公務員、主婦、学生など、職業を問わずさまざまな人が活躍しており、消防団の活動を通じてお互いのきずなは大変強いものがあります。地域の安心・安全を守り、災害のないまちづくりにあなたの力を生かしてみませんか。

### ★入団資格

- ◆宇城市内に居住又は勤務していること
- ◆満18歳以上であること
- ◆心身共に健全であること

問合せ先 総務課防災消防係 ☎32-1111

点検結果	
少年消防の部	
一位	当尾小学校
二位	豊福小学校
三位	海東小学校
消防団の部	
一位	第19分団
二位	第22分団
三位	第1分団
四位	第21分団
五位	第9分団
六位	女性分団
七位	第20分団
八位	第4分団
九位	第11分団
十位	ラパ隊

